

第1回 サイバーポート進捗管理WG（港湾管理分野）議事概要

【意見交換】

（委員）

令和5年1～3月の実証後、すぐにサイバーポートの運用を開始するためには自治体としても準備が必要であるため、運用開始までのスケジュールを提示してほしい。また、今後のシステムのメンテナンス費用も含めた利用料金について教えてほしい。

【事務局】

まずは、令和3年度末に港湾管理者や民間事業者等に確認いただいた、モックアップの最終版を、協力いただいた方々に共有する。その後、実証内容を実証港における港湾管理者や民間事業者と調整させていただく予定である。令和5年1～3月の実証の結果を踏まえた機能改修を行い、皆様の意見も聞きながらできるだけ早期の本格稼働を図っていききたい。

利用料金については、メンテナンス費用も考慮しながら現在検討中である。ただし、詳細については今後の本WGや主管課長会議で議論したい。

（委員）

まず統計分野について、我々の港では独自システムを持っている。その独自システムとサイバーポートが円滑に連携できるように、また連携することで作業の手間が増えないように設計をお願いしたい。2点目に、国に先行してシステムを構築している港湾管理者もいるが、独自システムにはない機能もあるため、それらの機能を選択的に利用できる方法を検討してほしい。3点目に、利用料金については、サイバーポートの導入による受益者とその便益も考慮して、各利用者が納得できるように検討していただきたい。

（委員）

令和5年度以降に本格稼働をすると記載があるので、4月から利用料金が発生するのではないかと想像している。来年度から利用料金を支弁するためには、今年度の夏・秋ごろから予算要求をする必要がある。今後、利用料金の検討をするにあたってはこのような県の事情も考慮してほしい。

【事務局】

港湾管理者の予算要求の事情は承知しており、初年度の利用料金は無料にすることも検討している。皆さんの納得できるように利用料金の検討を行っていききたい。

独自システムにはない機能を選択的に利用できるようにしてほしいという意見については、皆さんの意見を徴収しながら、構築を進めていきたい。また独自システムのある港湾管理者は把握しており、独自システムとの連携も進めていく予定なので、引き続き港湾管理者とは調整をお願いしたい。

（委員）

昨年に民間事業者や港湾管理者に対してヒアリングを実施されているが、それぞれの意見をどのように反映

していくか引き続き調整していければと思う。

(委員)

まず、我々の自治体では条例の施行規則で電子申請可能な港湾行政手続きを定めているが、今回のサイバーポートの取組により、電子申請が可能な手続きを増やす場合には、条例改正等をする必要があり、時間がかかることを理解してほしい。2点目に、NACCS データを統計システムと連携することだが、NACCS では不足するトランシップの情報や空コンテナの情報も含めることで、統計情報の精度向上を図ってほしい。3点目に、NACCS でカバーできない内貿貨物やバラ積み貨物のデータは、独自のシステムでもカバーすることが難しいので、十分な対応をお願いしたい。

(委員)

初年度の利用料金を無料にすることを検討いただいていることは大変ありがたいが、全体的にいくら発生するかわからないと予算化が難しいので、事前に教えていただきたい。また手続き関係について、システムがダブルスタンダードになってしまうと自治体の負担が大きくなるので、大部分の手続きが本システムに移行するように工夫してほしい。

【事務局】

料金のボリューム感も重要であるという話だったので、スピード感をもってしっかり説明していく予定である。最後に、NACCS データだけでは港湾統計の調査票の項目が不足してしまうのは理解している。最終的には報告者・都道府県の確認が必要だが、効率化できるようなシステム構築に努める。

(委員)

民間事業者としては、利用率を高めるためにも利用料金はリーズナブルであってほしい。調査統計システムについては無料ということが理想であり、あってしかるべきだと思っている。

(委員)

港には地域性がある。実証を通じてその地域性をシステムに反映するにあたり、港湾管理者や事業者とどのような調整をしたか可能な限り公表してほしい。

(委員)

今後の利用促進方法の検討について現時点で案はあるか。

【事務局】

利用促進方法について現在検討中であるが、実証結果を皆様に共有することから利用促進は始まると考えているので、WGを通じて皆様に報告する予定である。

(座長)

本件は皆様の業務に関わるため、意見はたくさんあると思う。本日の議論に限らず、皆様のご質問やご意見

について、今後とも事務局までお寄せいただければと考えている。今後もコミュニケーションを密にして、いいシステムを構築していただければと考えている。